

様式第2号

視察研修先	長野県小諸市議会	氏名	児玉 崇
視察研修項目	有害鳥獣商品化施設整備事業について		
<p>小諸市は、有害鳥獣対策において外部から人材を登用し、地元の猟友会や地域おこし協力隊（当初）などの協力を得て、有害鳥獣の問題を取り組みながら、ペットフードの商品化にも成功し、有害鳥獣対策と地域経済へ大きく貢献していることを視察。</p> <p>地元猟友会との連携は当初理解を得るのに難をきたしたようであるが、報酬の見直しや個々の会員への充実した補償等で行政主体の鳥獣対策の実施の運びとなった。有害鳥獣の捕獲から得られる肉や骨をリサイクルし、ペットフードとして商品化している。これは、持続可能なリサイクルと地域経済への貢献の実現と言える。</p> <p>ペットフードの商品化は持続可能な循環経済モデルとして地域経済を活性化させた。これは、有害鳥獣対策の成功事例として他地域における同様の取り組みの参考となりうる。本市においても有害鳥獣の被害は今後増えていくことも考えられ、鳥獣対策費用の増加も見込まれる。小諸市のような対策の実施は難しいにしろ、より無駄を生まない施策の準備は今後進めていくべきと考える。</p>			

様式第 2 号

視察研修先	群馬県高崎市議会	氏名	児玉 崇
視察研修項目	農業者支援のための各種補助制度について		
<p>高崎市は、新規就農者と 6 次産業に取り組む農業者への補助が充実していることで知られており、それらの補助プログラムを含めた農業振興について視察。</p> <p>高崎市は、新規就農者と 6 次産業に関心を持つ就農者に対し、国からの補助金とは別に下記のことを目的に手厚い給付金を支給している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・担い手の確保</li> <li>・ブランド化の推進</li> <li>・所得向上</li> <li>・農業者、食品事業者、流通業者等の多様な事業者の連携</li> </ul> <p>また、安心して安定した生産活動に向け、農業者に寄り添った施策の推進として、災害見舞金や支援金等を速やかに給付することで持続可能な農業の推進に大きく貢献している。</p> <p>高崎市の新規就農者と 6 次産業に取り組む就農者への補助プログラムに関しては学ぶべきことが多く、本市の担い手をはじめ農業者の将来の発展に向けた提言をしていくべきと感じた。</p>			

様式第2号

視察研修先	群馬県館林市議会	氏名	児玉 崇
視察研修項目	つつじが岡公園管理事業について		
<p>館林市のつつじが岡公園は日本一とも言われ、公園内には樹齢800年の樹木から100余品種・約1万株のつつじが植えられ、春のシーズンになると美しい花が咲き誇る。そこで、以下つつじが岡公園の維持管理や管理体制、将来にむけた再整備方針などについてを視察。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・管理体制</li> <li>・つつじの育成と保護（樹勢回復、後継木育成）</li> <li>・公園の将来像</li> <li>・四季型化に向けた観光誘客の課題と公園の再整備</li> </ul> <p>つつじが岡公園は、その美しさと維持管理において、日本一のつつじの公園であることが確認できた。本市にも約43,000株が植栽されたすばらしいつつじ園があるが、樹勢の衰えなのか以前のような広がる華やかさに物足りなさを感じるこの頃であり、保護管理・樹勢回復・後継木育成等の改めての啓発が必要であると伺える。</p> <p>また、つつじ以外のシーズンでは、園内でイベントを開催し公園の魅力維持を図ろうとするも市民向けイベントと受け止めざるを得ず、何とかしなければ…という思いは伝わった。そこで、隣接市の観光素材と抱き合わせた広域観光誘客への着眼は正しいが、並行してつつじ公園の魅力をもっと広報し、観光客の増加を促進するためのマーケティング戦略の検討も進めるべきと感じた。これは、本市における今後の観光誘客の課題と合致するものである。</p>			